

非小細胞肺癌に対する Bevacizumab+CBDCA+Pemetrexed療法

(アバスチン+カルボプラチン+アリムタ) RPHW_RPHW_1

2011年05月10日 承認

2020年02月17日 改訂(第7版)

Dr.sign

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号	氏名	年齢	身長	体重	体表面積
	<<SYPID>>	<<ORIBP_KANJI>>	様 <<SYAGE>>	cm	kg	m ²
疾患名	施行予定日	実施サイクル	【調製指示】			
	月 日 ~ ()コース目	コース予定	☐ 調製可 ☐ TEL連絡後調製 ☐ 有 ☐ 無			
備考[標準投与量逸脱など]			放射線併用			

【必須項目】

- ☐ 投与7日以上前からパンビタン末1g 1×服用開始
☐ 初回投与の少なくとも7日前にフレスミンS注 1A筋注

Day1 (/)

アプレピタントカプセル125mg 1回 1Cを
 治療開始前に服用

本管

ソルデム3A 500mL

側管

(3hr)

全開

生理食塩水 50mL

生理食塩水 100mL
アバスチン mg

(15min)

 グラニセトロン 1mg/50mL
 デキサート6.6mg 1V
 デキサート3.3mg 1A
 (リン酸エステル換算 12mg)

(10min)

生理食塩水 50mL
アリムタ mg

(1.0r)

生理食塩水 250mL
カルボプラチン mg

全開

生理食塩水 50mL

終了抜去

Day2 (/) ~ Day3 (/)

アプレピタントカプセル80mg 1回 1Cを
 午前中(朝食後)に服用

デカドロン錠 1回 8錠を
 1日2回(朝昼食後)服用

初回 : 90分かけてdiv
 ↓ (忍耐力良好)
 2回目 : 60分で投与可
 ↓ (忍耐力良好)
 以降 : 30分で投与可

【アリムタの投与終了(中止)時の注意事項】

- (1) パンビタン末は、最終投与日から22日目まで可能な限り投与する。
 (2) フレスミンS注は、投与期間中および投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する。

【指示】

◇悪心、嘔吐著明時

- (1) 投与翌日、翌々日 グラニセトロンゼリー
 (2) (1)で無効時、テルペラン錠

◇吃逆著明時

- (1) プリンペラン1A iv
 (2) (1)で無効時、ランドセン 1.5mg 3×開始

Bevacizumab+CBDCA+Pemetrexed療法

標準投与量:

Bev 15 mg/kg day1
 CBDCA AUC=6 day1
 PEM 500 mg/m² day1
 3週毎

使用Cre値

GFR算出式

mg/dl

☐ 補正あり☐ 補正なし☐ Cockcroft-Gault☐ Jelliffe☐ 24hrCcr☐